医療法人蒼生会 楠本病院

No.087

蒼生

2022年 10月号

広報誌「蒼生」バックナンバーはホームページhttps://kusumoto.or.jp/に掲載されております
冊子をご希望の場合、職員にお声がけいただければ過去の広報誌を差し上げる事もできます

茶の本（岡倉天心）

名誉院長 飯島崇史

我が家と岳父、亡楠本剛家本宅の間に茶室がある。楠本が木之庄町に土地を求め、居を構えた時、本宅の後ろに茶室を合わせ建てたもので、一時期祖母「アヤメ」が起居していた。岳父には茶道のたしなみがなかったが、祖父「駒一」は茶道具に関心があり、いろいろと茶道具を所持して自慢していたらしい。また京都で茶菓子をしばしば買い求めたりしていた。私も茶菓子「松風」だけを扱う店を教えてもらい、御所の南の店舗まで買いに行ったことがある。義母「江美子」と荊妻は表千家の師範について茶道を学び、特に荊妻は友人と誘い合わせて和装で大徳寺の茶会に出席するのを楽しみにしていた。ちなみに、次男は愛光学園茶道部に所属し、文化祭などで来賓にお点前を披露しており、裏千家の作法を踏襲している。

さて我が家の茶室、永らく使用していなかったがこの度、知人の勧めで改装。使用できるようにした。普段は会合に使用し、お茶事も2度ほど開催した。

もとより小生茶道のたしなみなどないが、当家に人を招くからには勉強しておかねばならぬ。当日のお点前は諸般の事情から、上田宗箇流福間宗伸師範代にお願いした。ちなみに当日は釜開き茶事として、茶室名「佳楠」（カノン）を披露したのであった。

さて昨年は福山城築城400年を記念する催しがあった。その前の年、広島では浅野家広島入城400年とそれに伴い上田宗箇入国400年記念事業もあった。上田宗箇は大坂夏の陣で一番槍を挙げた武人で、古田織部を師とする武将茶人でもあり、浅野家家老として1万7千石を領していたのである。現在広島を中心に5千人近くの門人を抱えている。江戸時代、茶道は主君の来訪である御成の接待として、武家社会に浸透した。

ところで、一般に茶道では抹茶を使用するが、茶わんの中で泡立てられた薄緑色の粉末はどのようにして作られるのだろうか。抹茶は煎茶を単に粉にしたものではない。新芽の生育期にコモやよしずで覆い、日光を遮った状態で育てる。そして若芽をしごくように摘み取る。揉むことはせずに、蒸した後は、乾燥するだけ。これが甜茶（てんちゃ）である。甜茶の茎や葉柄を取り除き，石臼でひいて粉にしたものが抹茶である。さて、茶室にて一服の茶をたてることにより成立する一期一会の主客の関係について、芸術の域まで高めたものが茶道であり、中国から伝来した茶を広く道教と禅の関連で西欧に紹介したのが岡倉天心である。岡倉天心は渡米先で日本の文化や芸術について話すよう、ボストン美術館から依頼を受け、20世紀の初め、ボストンの社交界のブルジョア婦人方を前に講演を行った。それを本にまとめたのが名著「茶の本」である。

岡倉天心の父は幕末、越前藩松平春嶽に才覚を見込まれ、横浜商館手代となり、中華街外国人居留地に住み、天心はバイリンガルとして育った。そして14歳で東京大学第一期生、翌年アメリカからアーネスト・フェノロサが来日。教壇に立つ。一方、天心は「美術論」

を提出して卒業、文部省に入省。黒田清輝らの西洋美術派との主導権争いを制して東京美術学校（現在の東京芸術大学）帝室博物館を実現。橋本雅邦、高村光雲、フェノロサ、横山大観、下村観山などたちと力を合わせ、28歳の若さで東京美術学校の校長となった。しかしその後不倫などのプライベートな問題によって美術学校長などを辞任したが、多くの教官が行動を共にして、菱田春草らとともに日本美術院を創設。日本画の院展として現在に至っている。北茨城の五浦（いずら）の海岸に土地を購入。釣りに没頭。創作に励んだ。その姿を平櫛田中が銅像にして、福山駅前に「五浦（いずら）釣人の像」としてたたずむ。また英文で出版した「日本の覚醒」「茶の本」、老荘思想の「東洋の理想」などがベストセラーとなって多額の印税を得、資金難であった日本美術院を援助した。当時、新渡戸稲造の「武士道」が欧米で評判となっていた。また内村鑑三、夏目漱石も英文で書籍を残しているが、みな第二言語として英語を習得したもので、バイリンガル天心の「茶の本」は茶の入門書として非常に優れている。さらに「武士道」で日本人が欧米人に好戦的印象を持たれていた認識を、自然を愛する民族として認知せしめ、黒船来航以降、日本が西欧に学んだように、西欧こそ日本、そして東洋に学びなおすべきだと啖呵を切っている。

今まで茶道など見向きもしなかったが、茶室の存在がきっかけとなって岡倉天心の人となり、さらには名著「茶の本」に触れることとなった。読者の皆さんにぜひ紹介したいと筆を取った次第である。

～プロムナード～
不動産共有はトラブルの元

土道法律事務所　弁護士　飯島充士

不動産の相談の中で結構な割合を占めるのが『共有』に絡むトラブルです。不動産の共有状態が生じる場面は『相続』と『ペアローン』。「相続税の申告期限も近いしとりあえず法定相続分に従って共有にするか」「二馬力でローン組めばタワーマンションも夢じゃないね」軽い気持ちで不動産を共有すると将来的に高確率でドロ沼にはまります。

共有最大の問題点は「全員一致でなければ不動産全体を処分（売却）できない」こと。持分割合は関係ありません。２分の１以上あろうが９９％あろうが処分には全員の意見一致が必要です。

「要するに意見が割れなければいいんでしょ」という方。残念ながら意見は割れます。特に一部の共有者のみが物件を使用している場合（兄弟で実家を相続して兄だけがその実家に居住している等）、強固な上下関係があるか一方が極端なお人よしでない限り確実に意見は割れると断言してもいいです。

ペアローンの場合は『離婚』、この一言でこれ以上の説明は不要でしょう。では共有不動産で処分方針がまとまらないときはどうすればよいか。まず法律上は『共有物分割請求』という手続が用意されています。

簡単に言うと裁判所が『現物分割（共有物を物理的に分割する）』『換価分割（共有物を売却して代金を分配する）』『価格賠償（特定の共有者に他の共有者の持分を買い取らせる）』、このいずれかを決定する手続です。共有物分割請求を行えば問題は確実に解決します。１００％絶対にです。ただし、判決の場合は基本的に競売による換価分割となるのでその物件を保有し続けたい人の希望は叶いません。そのため一方が相手方の持分を買い取る、または共有者全員の足並みを揃えて任意売却した上で代金を分割するという和解で終わることがほとんどです。ちなみにペアローンによる共有の場合は離婚に伴う財産分与の手続の中で処理が進められます。

その他に専門業者に持分を売却する手もありますがこの場合はかなりの安値で買い叩かれます。

共有は最初から回避するのが最善手です。相続ならバランスを考えて遺産を用意しておく。ペアローンなら借入方法や予算の見直し。いずれもそう簡単な話ではないでしょうが、共有は本当に揉めるので事前検討の価値は十分あると思います。

西洋美術史論考

名誉院長
飯島崇史

拙宅では、しばしばホームパーティなるものを催す。参加人数は10名くらいだが、西欧のサロンを念頭に置いているので、単なる飲み会ではなく、テーマを決めて講師役の人を招き、その人の基調講演から始まるのを常としている。演者としてお招きする回数の最も多いのは、地の利もあって、広大付属福山高校の元副校長落健一先生である。今は大会社の社長たちでも学生時代の悪さを知る先生には頭が上がらない。この裏話、当人はいざ知らず、部外者として聞いている者にとっては面白い。テーマは古典。専門の源氏物語にまつわる話が多く、「後朝（きぬぎぬ）の別れ」の意味や、また決して美人ではないが末摘（すえつむ）花（はな）を源氏は見捨てなかったことなど。また和泉式部日記では、美人というわけではないが、和歌の才能が素晴らしいため二人の皇子に言い寄られることとなった。この才能は人を誉めないことで有名な紫式部も舌を巻く才能の持ち主であったそうな。「あらざらむ この世のほかの 思い出に 今ひとたびの逢ふこともがな」百人一首 和泉式部（和訳）私はもうすぐそこの世を去ります、あの世へ持ってゆく思い出として、せめてもう一度、最後に逢って体を重ねあいたいと願っています。

歴史では梶本晃司氏による厳島神社縁起、村上武吉率いる能島村上水軍、西国街道、戊辰戦争、など。クラシック音楽では西欧のサロンのような演奏会が出来ないのが難点ではある。ピアノはアップライトしかないが、貴婦人方を前にしてモーツァルトやリストのような名手の演奏が聴けたらと、西欧貴族になったような夢を見る。そして美術史の演題を語る人が永らくいなかったが、此度神戸大学文学部美術史教授宮下規矩郎教授と面識をえることとなった、彼は話術もさることながら、美術に関する一般書を多数上梓しており、その度にサイン入りの本を送ってこられる。

彼の持論は以下のごとく。日本の幼児に対する美術教育は間違っている。お絵描きと称して絵を描かせるより、西欧のように美術館に連れてゆき、ほんものの絵画をみせるべきだと。

そう言えば子供のころ、クラシックコンサートを聴きに行った記憶はあるが、美術館で絵画を見た記憶は全くない。したがっていまだに荊妻に美術的教養で大きく水を開けられたままの状態が続いている。

この度、思い切って美術史の本を読破してみた。その結果、多少西洋絵画の流れが理解できたようになったと思うので、紹介することとした。「初めて出会う西洋絵画史。シスター ウエンディの名画物語 講談社」また、木村泰司氏は「世界のビジネスエリートが身につける教養：西洋美術史」。を上梓している。この本の帯には、美術史を知らずして世界とは戦えない、との文言が。西欧においては美術史とクラシック音楽に関する教養はエリート社会では共通言語のようなものだと言われる所以である。

総じていえば絵画の歴史は反動の歴史であるともいえる。ただその際、ゴシック、バロック、ルネッサンス、ロココ、新古典主義、ロマン主義、写実主義、印象主義などの文言が実際にどの絵に相当するかが判りづらい。ここが西洋美術史理解の難点であろう。13世紀から15世紀にかけてイタリアに始まり大聖堂の建築様式とともに全ヨーロッパに広がった初期ゴシックは、もっぱら宗教上の目的で生み出された。キリスト教を文盲の民衆のために目に見えるものとする教育的役割があったのである。初期ゴシックの代表で西洋絵画の父と呼ばれるのはジョットである。その代表作は「十字架降下」。（図1）15世紀にゴシックは南ヨーロッパでフィレンツェのイタリアルネッサンスに、もう一つは北ヨーロッパで北方ルネッサンスに急速な変化を遂げた。北方ルネッサンスはファン・エイクの「アルノルフィニ夫妻」（図2）が有名だ。この絵はモチーフの説明によく使われ、実際夫婦の間には忠節心

図1

図2

を著すイヌが描かれており、鏡の上には結婚に立ち会ったファン・エイクの署名が記されている。フィレンツェのイタリアルネッサンスは科学的正確さとリアリズムの追求で、マザッチオの「アダムとエヴァの楽園追放」ボッティチェリ「春」、レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナリザ」、ラファエロ「アテネの学堂」（図3）さらにティツィアーノ、エル・グレコ等々まさに綺羅星のごとくである。

図3

しかしながらルネッサンスの理想主義はきれいごと化して、これに対しカラヴァッジオがリアルなバロックを創始した。彼の絵は素晴らしいのだが凶暴で分別のない人間とうわさされ、実際殺人事件を起こし、ローマにいられなくなりシチリアなどで逃亡生活を送った。その間もすぐれた作品を制作し続けたがマラリアで非業の死を遂げたという。また宗教作品「聖母の死」（図4）は前例のないリアリズムゆえに。注文した聖職者たちから受け取りを拒否されてしまった。この聖母のモデルとなったのは、溺死した娼婦だという噂がたったからである。また、ゲーテが神のごとき天才と呼んだグイド・レーニの「スザンナと長老たち」（図5）、水浴中のユダヤ女性に長老二人が不道徳な行いをさせようと脅迫するが、汚れ無き義憤をあらわにして長老たちを見据えている。グエルチーノの「キリストと不義の女」（図6）不義の現場で捕まった女に石打の刑が宣告されるが、イエスは「あなた方の中で罪のないものが最初に石を投げなさい」といったという。告発者は皆いなくなり「行きなさい。もう罪は侵さないように」と諭したとされる問題作も見られる。そしてその反動として優雅なロココが生まれた、またバロックにはルーベンス、ベラスケスの「ラス・メニーナス（女官たち）」（図7）、レンブラント、フェルメールらが名を連ねる。ロココはヴァトーに始まり、フラゴナール、ブーシェ「ディアナの水浴」、シャルダンなどがいる。しかしロココもフランス王政の崩壊とともにすたれ、フランス革命を象徴するように新古典主義が台頭する。しかしこれは保守であり、反動として革新的なロマン主義が出てくる、新古典主義で有名なのはスペインのゴヤであり、ダヴィッドさらには裸婦像で有名なアングルなどがいる。ロマン主義ではドラクロア、風景画ではターナー、カンスタブルが知られている。

図4

図5

図6

図7

特筆すべきはクールベで、彼は写実主義を唱え「見たものしか画かない」と宣言。「こんにちはクールベさん」（図8）丁度その頃、チューブ絵の具が発明され、画家は大自然の中に出ていくようになった。おりしも産業革命による工業化都市化の反動で印象主義が台頭することとなった。ミレイ「オフェーリア」（図9）ミレー「落穂拾い」マネ「草上の昼食」、風景画のコロー、シスレー、水蓮のモネ。踊り子ドガ、ルノアール。後期印象派ではゴッホ、ロートレック、セザンヌ、ムンク、クリムトなどが名を連ねている。とてもすべてを紹介しきれるものではないが、今回の説明が、少しでも美術史の理解に役立つならば幸いである。あとは美術館に足を運ぶだけ。

図8

図9

現代医療の倫理について

名誉院長 飯島崇史

1998年福山市医師会理事に就任し、同時に医師会看護専門学校で講義を担当するようになった。担当分野は前医師会長大田浩右先生が担当していた「医療のしくみ・倫理」である。

後任がいなかったため、理事退任後も講義は続け、途中数年のブランクはあるものの概ね20年以上継続したことになる。今般、来年度のカリキュラムが変更となり、ようやくその任を終えることとなった。前会長自ら講義を担当したのは、この項目が看護学生にとって大切な講義分野と考えられたからに他ならない。終講にあたり、一部を記録に残しておきたいと筆を執ることにした。

まず「倫理」とは何か。漢字の意味を紐解くと、竹や木の札を綴じ合わせて整理することで、人の守るべき決まり、すじみちを表し、道徳と同じような意味合いを持つ。法は社会生活のおきてであり、倫理に則ったものでなくてはならない。昨今の現況を鑑みるに、医療技術の急速な進歩に伴い、従来神の領域とされていた分野にもヒトの技術が及ぶようになったため、偏った思い込みによりヒトの道に外れた領域に誤って手を突っ込む危険性が出現するようになってしまった。遅れて法が後追いする事態もしばしばみられる。バイオエシックス（生命倫理）と呼ばれる領域で、脳死、植物状態、臓器移植に関する問題。終末期医療（安楽死、尊厳死）に関わる問題。生殖技術（体外受精、代理母）に関わる問題。胎児診断と人工妊娠中絶。遺伝子医療と再生医療など幅広い課題が含まれる。加えて昔は詳しい説明もなく、お任せ医療が常態化していた。大きく変わったのは先の大戦でナチスドイツが行った捕虜に対する人体実験を戦争犯罪として裁いたニュルンベルグ裁判を経てからである。綱領が策定され、人間を対象とする医学実験に際しては、被験者の自発的同意が絶対必要とされ、ヘルシンキ宣言に受け継がれてゆく。そして医療一般にインフォームドコンセント（説明と同意）の考えが浸透し、患者の権利章典に至るのである。医学や治療の名目で患者が不利益を被らないように権利を勝ち得るまでに、多くの犠牲を払ってきたのだ。仇やおろそかにしてはならないと肝に銘ずべきであろう。

当事者として、最も望ましい有益な行為を選び出すコツは「もし私がその人の立場なら、自分に対してその医療行為がなされることに、満足するだろうかと、相手の立場に立って自分に問いかけることであり、またもう一つのカギは倫理の問題を多面的に考える習慣を身に着け、その答えも多様であることを忘れないことであろう。講義で何度も繰り返し強調したのはまさにこの点である。中には「和田心臓移植事件」「ALS嘱託殺人事件」などのように、法に触れる行為として法廷で裁かれる事案も混在しているが、立場によって賛否の分かれる件も多い。1998年のTIME誌の表紙を飾った一人の若いイギリス女性ルイーズ・ブラウン氏もその一人。コメントには「試験管ベビー第一号の私も無事二十歳を迎えました」と記されてあった。

立場の違いで評価が正反対となる例をひとつ。私たちの血を吸いにやってくるメスのアカイエカについて。普段は花の蜜や植物の汁を吸って暮らしている実に穏やかな昆虫であるが，ある時メスの蚊は吸血鬼となる。メスの蚊は卵の栄養分としてたんぱく質を必要とする。そのため、動物や人間の血を吸わなければならないのだ。

我が子のために危険を冒して命を賭ける一途な母親の姿がそこにある。オスはどうか。危険を冒して血を吸う必要はない。屋外で無数の雄が集まって飛びながら蚊柱を作る。羽音でメスを呼び寄せ交尾をするために。交尾を終えたメスの蚊は決死の覚悟で家の中に向かう。一方白黒模様のヒトスジシマカ（別名やぶ蚊）は屋外で勝負する。アカイエカにとって気密性の高い現代の家への侵入は困難を極める。人がドアや窓を開けると同時に侵入するのだが、蚊取り線香などが待っている。ヒトに気付かれないように肌に着地し、針を刺して血を吸う。ここまでの過程で気づかれれば、ピシャリと叩かれて即死。運よく針を刺して血を吸うと唾液を血管内に注入する。唾液には麻酔成分と抗凝固作用の成分が入っており、これがなければ蚊は血を吸ったまま死んでしまう。さらに家の中の水ではボウフラが生活できないので、今度は産卵のため家の外に脱出しなければならない。血を吸って体重が重くなった蚊は、ふらふらと出口を探す。ヒトに叩き潰される危険度が一番高いのはこの時だ。いくつもの難関を乗り越えやっと産卵にたどり着く。子供のためまさに命がけの行動をとるアカイエカのメスをただ単に吸血鬼とのしるだけでいいのだろうか。物事を多面的にみる必要を痛感する。

（生き物の死にざま　稲垣栄洋　草思社）

新入職員紹介

（令和4年4月以降に入社）

9月より勤務させていただいております、事務部の小川展央と申します。

以前は別の医療機関で入院医療事務、施設基準管理等に従事しておりました。当院と共通の診療科はありませんでしたが、皆様のご指導を頂きながら、病院理念・基本方針に沿って、頑張っていく所存です。

出身は岡山県笠岡市で、現在も笠岡市在住です。体を動かすことが好きで、休日は1～2時間程度のランニングから始めるようにしています。数年前からダイエットと体力維持を目的に始めたランニングですが、走り終わった後は爽快で、頭がスッキリしてくるように感じます。ランニングは走り出し直後から10分程度、普段と同じペースで走っているのに、「息が上がる」「足が重たい」といった違和感を感じる時間帯があります。この時間帯を超えると、足がスムーズに動くようになり、息も落ち着いてくるので、最初の走り始めの状態よりもかなり楽に走れるようになります。準備運動の大切さは理解しているつもりですが、不足しがちです。コロナ禍でマラソン大会の中止が相次ぎ、参加が難しい期間が続いておりますが、いつかフルマラソンに挑戦してみたいものです。ランニングを通じ培った気力・体力を活かし、皆様のお役に立ちたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

放射線技師　向井健人
理学療法士　國橋杏香
看護補助　横道郁菜
看護師　芝田美奈子
准看護師　瀬浪美幸
看護師　森田奈央
検査技師　松田裕子
医療事務　小川展央
病棟事務　井上絵美華

お知らせ

インフルエンザワクチン接種開始しました。接種費用は一般4千円、65歳以上千六百円です。新型コロナウイルス感染症の流行後、一昨年と昨年はインフルエンザの流行は見られませんでしたが、今シーズンは入国制限が緩和され海外からウイルスが入りやすくなり、インフルエンザウイルスに免疫を持つ人が減っていることもあって、新型コロナウイルスとの同時流行が懸念されています。

海外の報告では、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンを同時に打った場合と別に打った場合を比較して、抗体の量の差はほとんどなく、有効性は劣らないとされています。また、副反応についてもほぼ差がなく、厚生労働省の専門部会では有効性と安全性に問題なしとしています。

重症化リスクの高い高齢の方は早目の接種をご検討下さい。